

中央公民館だより

そうぞうながと



発行 | 長門市中央公民館運営協議会 広報担当
TEL | 0837-23-1181 FAX | 0837-22-3648
E-mail | chuo.kominkan@city.nagato.lg.jp

中央公民館広報紙
No.185



深川地区ふれあいスポーツ駅伝大会



2023年、飛躍の年 さあスタートだ！

新年明けましておめでとうございます。未だコロナ禍とはいえ、昨年度は公民館まつりをはじめ、概ね計画通りに公民館活動を進めることができました。感染防止対策の励行など、地域の皆様方の協力に心より感謝申し上げます。

今年の干支は卯です。その跳躍する姿は昔から、「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。今年も地域の皆様に感動や喜びを与えられる公民館運営にすべく、公民館職員、運営協議会委員、サークル会員の皆さんとともに心を一つに挑戦していきたいと思います。



公民館運営協議会

会長 小林武人

新年の
ごあいさつ

新・伝えたい「ふるさと深川」1
『長門どうじん風』

お正月には、「風あげ」や「かるた取り」をする「家庭も多いと思います。『明治・大正長州北浦風俗絵巻』に「正月の遊び」として「ほう引き」※1「羽根つき」「風あげ」が載っています。

風にはいろいろな形や種類がありますが、「長門どうじん風」という風を「存じ」でしょうか？その起源は定かではありませんが、戦前までは伝統が受け継がれ、長門であげられていたようです。

「どうじん風」の由来は、蒲生氏郷（安土桃山時代の大名）が朝鮮または長崎から伝えた「唐人風説」、花房道順（江戸時代の小笠原藩典医）が広めたという「道順風説」、北前船の船員が土産に持ち帰った「土産風説」など諸説あります。

平成十九年に幻の「どうじん風」を復活させようと長門どうじん風の会が発足しました。会では、三年の年月をかけて、「長門どうじん風」を復活しました。しかし、シンボルとなる風絵がなかったことから、長門出身の近藤西虹画伯（日本画家）に依頼し、風絵が完成しました。会は様々な風揚げ大会に精力的に参加しています。

現在、ヒストリアながとのエントランスに「長門どうじん風『阿咩双竜』」が飾られています。

※1「ほう引き」とは、集まった人の数ほどのクジを作り、クジの中の一の端に燈をつけておき、燈を引きあてた人が、みんなで持ち寄った品物やお金をもらうという遊び



『明治・大正長州北浦風俗絵図』より



「阿咩双竜」風

わが家の宝子



むらた 村田 うみさん(4歳4ヶ月)

歌ったり、踊ったり、お化粧したり、お絵描きや色ぬりが大好きです。お手伝いもよくしてくれる優しい元気な女の子です。

今月のうた

山茶花クラブ

おみがきは最後の行事年暮るる

老い老いし急がば回れ年の暮れ

凍蝶のむくろに銀の星雫

長門短歌会

シャボン玉人の心を丸くする

吹く子見る人虹の輪追えり

ポンポンと息子の悪口盛り上がる

嫁は私の娘になりて

十二月母と面会予約して

雪降らぬかと心配したり

中村 瀧江

佐貫 勝代

山田 耕司

佐貫 勝代

小林美由紀

吉富 成子

深川地区の人口

世帯数	5,841	(-123)
男性	5,659	(-46)
女性	6,477	(-111)
計	12,136	(-157)
(R4年12月1日現在)		

中央公民館 1月の行事予定



3(火)
7(土)
7(土)・21(土)
8(日)
11(水)・25(水)
28(土)

長門市二十歳のつどい
子どもクラブ(百人一首)
キッズエクササイズ(3B体操)
風作り&風揚げ会
親子でJミックス
わくわく土曜塾
(ニュースポーツ)

編集後記

▼昨年4月に定年退職後の再任用として、公務員人生初の社会教育部門の公民館に勤務し、早や9ヶ月。ご来館いただいた方との挨拶に始まり、「お疲れさまでした。ご利用いただき」がありがとうございました。に終わる。未だに全てが新鮮で、窓口業務最前線の現場で毎日楽しく働かせていただき感謝する日々です！(敬)



いあいさつ

深川スポーツ振興会
会長 東 信男

新年おめでとうございませう。
今年は、兎年。大きな耳をそばだて飛び跳ね、飛躍の年にしたいものです。

イソップ物語の「ウサギとカメ」のウサギのように油断せず、「二兎を追うものは一兎を得ず」のこのわざを胸に欲を出さず、「コロナ対策を万全にして、少しずつでも行事が実施できればと思っています。スポーツを通じて健やかで楽しい活動を企画していきたいと思っておりますので、多くの方の参加よろしく願います。



新年のいあいさつ

長門市子ども会育成連絡
協議会深川支部

支部長 村田勇吉

新年明けましておめでとうございませう。また、平素より地域の皆様には、見守り活動等を通じて、子どもの健全育成にご支援をいただき感謝申し上げます。

今年も引き続き公民館と連携し、子ども会並びにジュニアリーダーの活動をサポートして参る所存です。地域の皆様におかれましては、これまで同様、子ども会・ジュニアリーダーの活動にご理解・ご支援いただきますようお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。



いあいさつ

長門市青少年育成市民
協議会深川支部

支部長 横山具寛

明けましておめでとうございませう。平素より地域の皆様には、当支部の事業活動にご理解とご協力を賜わり、誠にありがとうございます。

昨年は、コロナ対策を行いながら、ブロック会議や史跡探訪クリーンウォークを開催し、多くの方々に参加いただいたこと、また、「横断歩道の一旦停止啓発事業」が地域の皆様にご協力いただき浸透してきたことに感謝致します。

本年も地域の皆様方と、直接顔の見える事業を行いますので、ご参加をお待ちしています。



年頭にあって

わくわく土曜塾
塾長 緒方栄作

あけましておめでとうございませう。わくわく土曜塾は、今年で十六年目になります。昨年はコロナ禍の中でしたが、塾生、スタッフ（コーディネーター等）それぞれが感染防止に気を付けながら、無事に有意義で楽しい活動が実施できました。関係の皆様は心からお礼申し上げます。

今年も塾生全員が多様な体験と学びが出来ますよう、「長門いいとこ見つけ」を念頭に置き、塾生、スタッフ一同、元気よく活動していきたいと思ひます。今年一年、塾生のみならずはさらなる成長を、スタッフの皆様には健康を、すべての皆様にご多幸を祈念して、ご挨拶とします。



▼優勝した板持Aチーム



参加チーム

三ヶ村(殿台・大河内・小河内)、上川西2・3区、江良、ちびくら(大畑)、板持A、Taya(田屋)、【オープン】板持B、深川小教員、チームNGT

【優勝】板持A (53分29秒)
【準優勝】江良 (53分33秒)
【第3位】三ヶ村 (55分31秒)



12月18日(日)、旧大畑小学校周辺にて深川スポーツ振興会主催「第34回深川地区ふれあいスポーツ駅伝大会」が開催されました。オープン参加を含む9チームの参加があり、全12・96kmを8人の選手がタスキを繋ぎました。
朝から冷たい風と雪、レース前後には日が差したものの、レース中は視界を遮るほど吹雪き、その中を選手の方々は懸命に走っていました。
コロナ禍や天候の心配がある中、参加チームやクラブネッツ大畑の方々の協力もあり、おかげさまで無事に開催でき地域の皆さんとふれあうことができました。

深川地区 ふれあいスポーツ駅伝大会

健康ウォーキングで“健幸”に

11月27日(日)、深川スポーツ振興会主催の「第17回健康ウォーキング」を開催しました。

雲一つない秋晴れのもと、今回は田屋をスタートして仙崎方面を歩く約8kmのコースです。

まずは、紅葉が見られるみずぐ公園に寄り、セングキツンの前を通り海外引揚げ上陸跡地へ。そこから、イベントが開催され多くのお客さんで賑わうみずぐ通りに入り、金子みずぐ記念館に入館、それから仙崎駅に立ち寄りしました。

参加者からは、「歩いていたら暑いくらいのよい天気で、いい運動になった。」「みずぐ記念館に久しぶりに訪問できて、今日は参加してよかった。」などと楽しそうな様子が伺えました。



わくわく土曜塾クリスマス会

12月10日(土)の活動では、保健センター講座室で、クリスマス会を行いました。

今年のクリスマス会は、ゲームをしました。ゲームには、土曜塾コーディネーターの皆さんがこれまでに手作りしてきたおもちゃを活用しました。牛乳パックを輪切りにした積み木を積むゲームでは、班ごとに様々な作戦を立てる等、どのゲームも子どもたちが白熱して盛り上がりました。

また、10月の活動で収穫したさつまいもを使ったカップケーキのデコレーションもしました。クリームの絞り袋が破れるハプニングに班全員で笑いが起きる場面もありましたが、美味しいカップケーキに仕上がり、家に持ち帰りました。



地域協育ネット活動の様子

10月～12月にかけて深川中、深川小、向陽小では計19回、地域の方々のお力を借りて様々な体験活動が可能になりました。学校からは、毎回、授業の充実につながっているとの評価をいただいています。



将棋体験【向陽小】



ペタンク体験【深川小】



家庭科：着付け【深川中】



モルック体験【向陽小】



茶道体験【深川小】

